伝説が残る

三池宮周辺

一の山 今山岳

三池宮(上宮)

三池宮は、霊泉 三つの池の出現によりかんばつに霊験あるという五穀豊穣の神として祀られています。

三池宮東側
展望所・休憩所

三池宮には昔、山城があった!?
詳しくはP8

長田宮(中宮)

江戸時代までは普光寺の三院、七子坊の一つでした。風雨の神様と崇め豊作を祈ります。

八大龍王宮(下宮)

水、風を司り、雨乞いや五穀豊穣を祈願します。

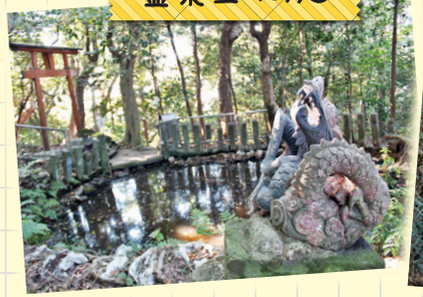
珍しい子供を抱く狛犬(こまいぬ)

三池宮ご神体

神々の生みの親
伊邪那岐(いざなぎ)神と伊邪那美(いざなみ)神が祀られている

ヤブツバキの群落
(三池宮東側の登山道)
ツバキの花がしきしめられた道

霊泉 三つの池



「山」文字ミステリー

登山道の岩に「山」の文字が刻まれています。
以前修験道の修行にいわれがあるみたいです。
以前は四つでしたが、次々に発見され現在七つが確認されています。

大蛇とつがに伝説

「その昔、お姫様が大蛇に飲み込まれそうになった時、蟹(つがに)がでてきて、大蛇を三つに切り、お姫様を助けたということです。この時三つに切られた大蛇が苦しみ暴れた跡がくぼみ三つの池になった」という伝説が伝わっています。この三つの池の一つは有明海とつながっているといわれ、この水は枯れることなく、かんばつや虫害に霊験あらたかと信じられ、信仰を仰ぐ理由になっています。